

あぶくま支援学校

同窓生・親の会だより

福島県立あぶくま支援学校 同窓生・親の会 会報係 令和6年3月8日発行

同窓生・親の会会長あいさつ

皆さん体調を崩さず元気に過ごしていますか。今年度はコロナの制限が緩和され、レクリエーション活動やお祭りが開催され、とても嬉しかったです。しかし私は、コロナに感染してしまいレクリエーション活動に出席できず、とても残念でした。出席したじのお祭では、すべての作業班の製品を見て在学中のことを思い出して、懐かしさを感じました。また、お世話になった先生方にも会えて良かったです。

来年度は、皆さんと一緒にレクリエーション活動ができるように体調を万全にしてお待ちしております。皆さんも心と体の健康を大切にお過ごし下さい。また、お会い出来る日を楽しみにお待ちしております。

事務局長あいさつ

日頃より同窓生・親の会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今年度は日常生活の行動制限が解除され、四年ぶりにレクリエーション活動が開催されました。

八月二十六日に開催されたレクリエーションには、たくさんの卒業生と保護者の皆さんが参加して下さいました。久しぶりの再会にとっても感激でした。

「二十歳を祝う会」では、二十歳を迎えた卒業生に、これからの夢を語ってもらいました。

たくさんの笑顔がありました。とても胸が熱くなりました。また、来年、会いましょう。

校長あいさつ

「大切なつながりの場」

同窓生・親の会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご支援いただき、心から感謝申し上げます。令和五年五月に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行したことを受け、久しぶりに会員同士の交流の場を設けることができました。七月に総会を実施するとともに、八月にはレクリエーションにおいて、今年度二十歳を迎える会員の「二十歳を祝う会」を実施することができました。十月のじのお祭においても、学校の活動の様子をご覧いただくことができました。会員同士顔を合わせる機会が戻ってきたことを、とても嬉しく思います。

令和六年度、本校は創立三十周年の記念すべき年を迎えます。これまで多くの卒業生が積み重ねてきた歴史を振り返るとともに、これからの顔を合わせた交流を通して、会員の皆様の思いを繋げていくことができるよう、この会を大切にしていきたくと考えています。

平成二十七年卒

僕の心に残った一つは、三月に卒業した後輩に何人かの先輩が代表で贈り物を渡した事です。それは、先輩から後輩へのYE L L I でした。

もう一つは、ビンゴゲームです。マスクはしていたけど、皆さんと一緒に大きな声を出したり、楽しいゲームをしたりすることが出来ました。



この四年間、皆さんの心と体が健康で本当に良かったです。

令和元年度卒

八月二十六日土曜日、レクリエーションに参加しました。二十歳を祝う会では、今年二十歳になる後輩を、みんなでお祝いしました。お祝いできて、僕は嬉しかったです。

その次は、ビンゴゲームをしました。ビンゴになると、一人、マイクでひと言近況報告をしました。



僕、「お仕事がはばっています。」と言いました。

先生方や、皆さんに会えて、本当に嬉しかったです。

令和一年度卒

八月に開催されたレクリエーション活動の「二十歳を祝う会」で、僕は司会を務めました。とても緊張しましたが、やり切った達成感で胸がいっぱいになりました。

次に行われたビンゴ大会では、久しぶりに会った友達と楽しむことができ、今も僕の中で印象深く残っています。



次のレクリエーションにも参加したいと思いました。

令和一年度卒

八月に行われたレクリエーションに初めて参加しました。二十歳を迎えた先輩達の頑張っている話を聞いたり、みんながビンゴをしたりして、楽しく過ごすことができました。

卒業後はお友達にも先生方にもなかなか会えなくなってしまうので、話が出来たりすること、子供にとっても嬉しいことだと思いました。



卒業生だより

令和4年度卒業の代表の方に原稿を依頼しました。

「楽しみながら目標へ」

令和4年度卒

娘は、カレッジ郡山に通っています。勉強や工作、課外活動などがあり、買い物学習では、頼んだ物を「買えた。会計できた。」と、嬉しそうに話しながら渡してくれます。また、同じ事業所のB型支援まことと近くであり、合同でのパソコン授業やおやつ作りも楽しく活動していて、カレッジ卒業後は「まことで働きたい」と目標に向かい、カレッジでの自立訓練を頑張っています。



「がんばっています」

令和4年度卒

私は、ファミリー生活介護サービス郡山という所へ通っています。しかし、まだまだ慣れません。毎日、他の利用者さんと朝のラジオ体操をしてから、いろんな活動を行なっています。活動の内容は、ドライブ、誕生日会、足湯、送迎車の掃除、散歩などがあります。少しずつ慣れて、過す事が出来るよう頑張っています。



「私の仕事」

令和4年度卒

私は太田西ノ内病院のSPDセンターで働いています。ここでは病院内で使う物品を管理していて、私の主な仕事は各病棟から依頼のあった物品をピッキングして配送したり、血液や尿などの検体を回収して検査室へ届けたります。初めのうちは覚えきれず迷ってしまつこともありましたが、スタッフの皆さんが分からない部分を丁寧に教えて下さるお陰で、今では一人でできる事も増え、仕事に対して自信がもてるようになりまし。



二十歳になって

令和3年度卒業の皆さんが二十歳を迎えられます。

「二十歳になって」

令和3年度卒

僕は、あぶくま支援学校卒業後、日本全業工業株式会社工コ・環境推進チームで働いています。初め頃は、草むしりや落ち葉集めなどのやり方がわからず大変さを感じましたが、上司や先輩方が優しく教えてくれたお陰で今でも元気に頑張ることが出来ています。そして二十才になった今、僕は草刈機の免許を取得する事ができました。外作業の幅も広がりが、施設周辺が綺麗になっていく事が嬉しく、とてもやりがいを感じています。これからも元気に頑張りたいです。週末は、スフィード郡山のサッカーチームに所属し練習に励んでいます。今後とも両立し、元気に過ごしていきたいです。



「二十歳になって」

令和3年度卒

息子は今、郡山市更生園に通っています。ボールペン部品のもぎ取りや、畑の草むしりを職員さんと行なっています。八月二十六日に行われた「二十歳を祝う会」に息子は参加し、たくさんのお窓生にお祝いしてもらいました。親としても、息子が参加することができ安心しました。二十才になった息子は、「休まず事業所に行くこと」を目標に、毎日頑張っています。親としても、健康に元気に、「自分らしく過ごしてほしい」と心から、願っています。



「二十歳になって」

令和3年度卒

先日、母が二十才の時に着た着物を着て、成人式の写真を撮りました。みんなが喜んでくれて、嬉しかったです。私の誕生日のお祝いに、お店でビールを飲みました。焼き鳥とビールはともよく合って「私も大人になった」と実感しました。あぶくまを卒業してもうすぐ二年です。事業所の仕事を、毎日楽しく頑張っています。父や母には、二十歳になったのだから「自分自身でできるよ」と言われています。これからも、自分のことも仕事も頑張ってお給料を貯金して、大好きなななにわ男子のライブへ行きたいと思っています。



事務局だより

今年度はコロナが収まり、久しぶりに活動が再開されました。4月、新入学生70名が新たに入学されました。事務局会は23名が参加し、昨年度から引き継ぎを受け、今年度の計画案が話されました。総会も久しぶりに実施され31名の方が参加されました。(委任状129名、その他承認)レクリエーションは、学校の体育館を会場にして、二十歳をお祝いする内容とビンゴゲームをしながら近況報告を、実施しました。当日は約100名の方が徐々に会った友達や先生方と談笑する様子がみられました。参加いただいた皆さんは満足されていたようで、準備した事務局員も安堵しました。にじのおか祭にも約70名の方に来ていただけました。今後もお便りを楽しみにしていただけたらと思います。また、総会やレクリエーションに参加できる方はぜひ学校に来てください。1年間ありがとうございました。



進路だより

「みんなの力をあわせて」

進路指導主事

同窓会・親の会の皆様には日頃より本校の学校活動にご支援・ご協力いただき、感謝申し上げます。今年度の「にじのおか祭」の開催は、お客様を迎えるための開催となりました。先輩たちは学生時代のことを思い出しながら楽しみ、在校生や先生方は、社会人として活躍している同窓生皆さんの姿を見て、たくさんの方の元気をもらいうことが出来ました。今年度の卒業生は五十九名です。卒業生が明るさに満ちた社会生活を過ごしていけるよう、みんなの力をあわせて、卒業生を支えてもらえればと思います。

令和6年度の学校行事予定

- にじのおか祭
- 10月16日(水)
- 10月17日(木)

※日程や実施の内容など変更・中止になる場合もあります。
※土曜日の開催ではありませんのでご注意ください。



<お知らせ>

- 同窓生の皆さんへの会報や行事のお知らせは、卒業後10年間送らせていただくこととなり、今年度の会報は、平成25年度卒業以降の会員の方々に送付しております。
- 活動についてわからないことがあれば、同窓生・親の会事務局までお問い合わせください。



編集後記

今年度も会報を発行することができました。発行にご協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。これからも同窓生・親の会へのご協力をよろしくお願ひいたします。

